

環境インフォメーション

家庭でできる生ごみの減量化 ～まずは身近な取り組みから～

▶ 無駄なものは買わない ◀

買物へ行く前に、冷蔵庫の中身や消費期限をチェックして、本当に必要な物だけを買う。

安いからといって買いすぎない。

▶ 「ひとしぼり」の習慣を ◀

生ごみの約70%以上が水分です。

ごみを出す前に「ぎゅっとひとしぼり」、減量効果は絶大です。

市では一般家庭の生ごみの減量・堆肥化による資源化推進のため、市内に住所を有する方を対象に、生ごみ処理機等の購入に対して補助金を交付しています。

すでに補助金の交付を受けている方でも、5年を経過していれば再度交付を受けることができます。生ごみ処理機等は、家電量販店・ホームセンター・農協等で販売しています。

種 類	生ごみ処理機	土壌設置型コンポスト化容器	EMIぼかし菌使用密閉容器
			
対 象 基 数	1世帯1基	1世帯2基以内	1世帯3基以内
交 付 額	購入価格（消費税除く）の3分の1の額（100円未満は切り捨て）		
限 度 額	15,000円	1基につき2,000円	
補助金交付申請に 必 要 な も の	印鑑、領収書、口座番号の分かるもの ※生ごみ処理機の申請時には、上記の他に保証書のコピーも添付		

今夏の節電対策の効果は？ ～緑のカーテンコンテスト～

市環境市民会議では、市民の皆さんが夏の間に育てた「緑のカーテン」のコンテストを実施しました。緑のカーテンとは、建物の側面にネットを張り、アサガオやゴーヤなどつる性の植物で直射日光をさえぎり、日陰を作ることです。また葉の水分が蒸発することで、建物内の温度上昇を抑え、電気の使用を減らす環境にやさしい取り組みのひとつです。今年度は、一般部門9点の中から4点が入賞し、市内小・中学校9校も参加しました。

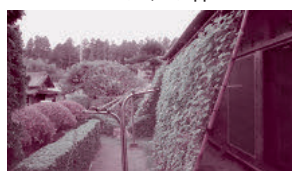
市環境市民会議では、地球温暖化対策として緑のカーテンづくりを推進しています。家庭や職場で作ってみませんか。



みのりの森



みのり園



山崎正子



生田目栄子

○緑のカーテンコンテスト入賞

- 山崎 正子（下村田）、生田目栄子（石沢）
- ・小規模特別養護老人ホームみのりの森（鷹巣）
- ・特別養護老人ホームみのり園（鷹巣）

○市内参加小・中学校

- ・上野、大宮西、大宮北、山方、山方南、美和、緒川小学校
- ・第二中学校 ・明峰中学校

■問い合わせ■ 環境課 環境推進グループ ☎52-1111（内線123）